

No.87

■発行/奈良市議会
■編集/奈良市議会だより
編集委員会



〒630-8580
奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
(0742)34-4734

奈良市議会だよりは年4回(2月、5月、8月、11月)の発行予定です。



夏本番! 元気に水遊び (あやめ池幼稚園)

6月定例会

議長に和田晴夫氏を選出 副議長に森田一成氏

本市議会は、平成18年6月定例会を6月23日から7月5日までの13日間の会期で開きました。この定例会では、議長、副議長の選挙を行い、議長に和田晴夫氏、副議長に森田一成氏を選出しました。また、常任委員会の委員の選任などを行いました。このほか、市長提出の報告18件、議案22件、議員提出の意見書2件をいずれも原案どおり可決しました。市長提出の人事案件では、福井重忠氏を助役に選任することに同意しました。

就任のあいさつ



議長 和田晴夫

副議長 森田一成

市民の皆様には、平素から市議会の活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私も、このたびの6月定例会におきまして、奈良市議会議長及び副議長に就任いたしました。

その重責に身の引き締まる思いでありますとともに、さらなる市政の発展と公正で開かれた議会運営に誠心誠意取り組みたいと考えております。

さて、現在、奈良市では第3次総合計画後期基本計画に基づき、昨年合併いたしました月ヶ瀬、都祁地区とともに、それぞれの地域の特色を生かした、新しい奈良市のまちづくりが積極的に推進されております。

また、中核市に移行して5年目の節目を迎え、福祉や教育をはじめ、あらゆる分野で、これまで以上の、きめ細やかな行政サービスが求められており、市政に対して大きな期待が寄せられているところであります。

このような中、市民皆様のご協力のもと、限られた財源を最大限に活用し、創意工夫を重ね、最も効率的で民意が反映された市政の展開に努めていかなければならないと存じます。市議会といたしましても、議会の活性化をはかりながら、市民皆様の負託にこたえられますよう議決機関としての使命を全うし、住みよいまちづくりの推進に尽力する所存でございます。

今後とも、市民皆様のさらなるご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

答弁

老春手帳優遇措置 見直し案など議論

6月28日、29日の本会議では、14人の議員（うち代表質問5人）が質疑・一般質問を行いました。今定例会では、老春手帳優遇措置事業の見直し案や行政姿勢、都市整備、教育などについて質問がありました。以下は、質問と答弁の要旨です。

（代表質問には会派名掲載）

問と質
本会議

保健福祉

老春手帳優遇措置見直し案 タウンミーティングに提案

政翔会

老春手帳優遇措置事業は、平成18年度は現行どおり実施し、19年10月からは75歳以上はこれまでどおりと

し、74歳以下は年間5000円の負担をお願いする。また、毎年1歳ずつ対象年齢を引き上げ、23年度に75歳以上とする。映画、風呂については、一部自己負担をお願いし、18年10月から実施する案をタウンミーティングに提案させていただいた。今後は、議会とも十分に協議をしながら成案していきたい。

障がい者の負担が大きい 障害者自立支援法

日本共産党奈良市会議員団

問 障害者自立支援法では、所得に応じた応能負担から、原則として費用の1割の定率負担を求める応益負担が導入

確認した。今後は、モデルの2校に配膳室等の整備を行い、速やかに実施していきたい。

利用者の多い北部図書館 蔵書数の拡大を

問 市立図書館の平成17年度末蔵書数は中央図書館31万9400冊、西部図書館20万6900冊、北部図書館4万7600冊で、北部図書館は他の2館に比べ極端に少ない。

また、蔵書数に比較して利用者が多いため、いつ行っても読みたい本が本棚に並んでいない状態である。蔵書数を飛躍的に拡大する必要がある。どのようにするか。

外部調理委託方式で 中学校給食実施

教育

また、どのように検討された結果なのか。

答 3月定例会で、新しい制度設計を行うと約束させていただいたので、さまざまな案を検討した結果、バス優待

問 中学校給食検討委員会が開催されたと聞かすが、その審議内容と今後の取り組みは。

答 去る6月2日に1回目

の委員会を開催し、中学校給食の必要性とモデル校の実施について検討した。委員から、完全給食ではなく、家庭からの弁当と給食を選択できる方法等の意見が出された。2回目の委員会では、先進市の配膳施設を見学するとともに、実施にかかる課題の質疑応答も行った。その結果、モデル校2校で、外部調理委託方式での弁当提供の実施を

念しなければならず、深刻な問題である。これまでと同じサービスを利用できるように、利用料の負担軽減策の検討は。

答 国においては、4月から福祉サービスに対する月額負担上限額を定め、さらに入所施設やグループホームの利用者に対する個別減免また補助給付等、状況に合わせたさまざまな軽減措置を講じてい

市独自の負担軽減策については、他都市の状況も調査し、福祉サービス利用料の実態把握に努め、検討していきたい。

今定例会に提出された請願書は次のとおりです。
▽老春手帳優遇措置事業のうち、ふる・映画の一部自己負担を10月から実施しないことを求める請願書
請願者 〃
奈良市のシルバークラスを守る会
代表 寺本 敏夫氏
（厚生委員会付託）

意見書

今定例会で可決し、政府等に提出した意見書は次のとおりです。

スポーツクラブ設置運営で 指導者の招請

問 中学校の部活動は、需要が多様化しているが、教師の高齢化が進むなど需要に思うようにこたえることができていない。現状と今後についての見解は。

答 平成18年度は全中学校で256の運動部及び文化部があり、87.2%の生徒がいずれかの部に所属している。しかし、特に運動部では顧問の専門的指導力不足や高齢化等の課題が指摘され、奈良市教育改革3つのアクションプランとして、学校と保護者がスポーツクラブを設置運営して指導者の招請に取り組んでいる。

社会体育の活性化に 部活動検討委を設置

問 市の競技で衰退している部活動の活性化を図りたい。

市民との協働を活用して復活を目指すべきである。市として社会体育を育成する制度や仕組みをつくり、抜本的な改革をする考えは。

また、スクールサポートの

大学生を部活動の指導補助として派遣している。こうした取り組みを踏まえ、望ましい部活動のあり方について検討していきたい。

人事案件

監査委員

議員のうちから選任する監査委員に幾田邦夫氏、米澤保氏を選任することに同意しました。

行政姿勢

財政非常事態宣言で
市民に理解と協力を

創政会

問 後期基本計画における市の今後4年間の財政見通しは、171億円の収支不足累計となっており、財政再建団体の資格を有する。
このため、行財政改革の推進が必須であるが、市民生活に關連する経費の削減の可能性も探らなければならず、市民の理解と協力が必須である。財政非常事態宣言をして財政健全化の決意を示す考えは、

都市整備

市の街区公園に
健康遊具の導入は

問 少子高齢社会の到来により、街角の公園も子どもたちが安全で安心して遊べると同時に、お年寄りも集える公園への転換が求められている。
市の街区公園に健康遊具があることで、高齢者が公園や外に出かけるきっかけとなることから、ぜひとも健康遊具の導入を求めるがどうか。
答 高齢者が、健康遊具を使うことで、全身の筋肉をリフレッシュさせる効果や、バランス感覚を養う効果があり、体力の回復も見込めることから、介護予防にもつながると

進が必要であるが、市民生活に關連する経費の削減の可能性も探らなければならず、市民の理解と協力が必須である。財政非常事態宣言をして財政健全化の決意を示す考えは、聞いています。
今後は、子どもたちとお年寄りが安全で安心して集える公園整備を目指し、健康遊具の設置についても、地元と協議を行いながら、前向きに検討していきたい。

信号機設置で
交通安全対策

問 大森跨線橋落橋工事で、都市計画街路杉ヶ町高畑線や三条大宮添川線の交通量が激増している。それぞれの路線には、信号機のない横断歩道があり、杉ヶ町は済美小学校、三条添川町周辺では大宮小学校の子どもたちが数多く通行している。これらの横断歩道の安全対策は。
答 大森跨線橋の撤去により交通が規制され、時間帯によっては渋滞を招くなどして

いるので、交通安全対策の一環として、三条添川大宮線で信号機を一カ所設置すること警察との協議を進めている。



信号機設置予定の三条添川大宮線

格差社会の解消に向け
県や関係機関と連携

市民クラブ

答 後期基本計画の財政見通しについては、ホームペー及び平成18年6月1日号しみんだよりの行財政改革特集で市民の理解を願うため企画をして、お知らせした。
また、タウンミーティングでも市の財政事情と今後の奈良市像のお話をし、ご理解とご協力をお願いしている。あらゆる機会を通じて行財政改革の周知をしていく。
今後は行財政改革の進捗を見極め、市民への周知方法についても検討していく。

問 若い世代に所得格差だけでなく、人の生き方、夢や文化といった分野までも格差が広がっている。この格差社会の到来をどうとらえ、市の施策に反映していくのか。
答 長引く不況の下、正規

その設置個所については、地元関係者の意向を踏まえ「プレステ11番館」前に設置の方向で調整を図っている。

これを解消するには、若年層の雇用を確保し、一人一人が能力を発揮できる環境づくり、また社会的弱者に対するセーフティネットといった社会全体での支援策が必要で

ある。市も、県や関係機関と連携し、若者の就労の機会の確保に努め、雇用促進を図ることで、希望の持てる地域づくりを進めていきたい。

65歳以上介護保険利用者
市民税の障害者控除は

問 税制改革により市民税が課税となる高齢者が激増した。しかし、障がい者や寡婦(夫)は、合計所得が125万円以下の場合、市民税の非課税措置が受けられる。
65歳以上で介護保険を利用している人が障害者控除を受けられる場合、要介護認定時の主治医意見書の添付で認められ

ないか。
また、申告期限後も申告は受け付けるのか。
答 地方税法施行令に規定する障害者の範囲の証明については、12月31日現在の状況によることとなっており、市が発行する障害者控除対象者認定書の添付で認める取り扱いをしている。
また、期限後も申告を受け付けており、修正申告についても常時受け付けている。

平城宮跡会場
文化庁と協議継続

問 平城遷都1300年記念事業は実施計画に入らねばならない時期に至っているが、会場が決まっていない。
基本計画では、平城宮跡を会場としてあらゆるイベントが組まれているが、この時期に場所がはっきりしていないのはいかがなものか。
答 記念事業の開催意義、目的については、文化庁でも理解をいただいている。
現在は、平城宮跡の利活用のあり方や地下遺構の保護、歴史的景観との調和等について協議を継続している。
この記念事業は、平城宮跡

市立病院

がん患者緩和ケア充実を研究
市立奈良病院で

公明党奈良市議会議員団

問 がん対策基本法が第164国会で全会一致で可決・

成立したが、市立奈良病院における緩和ケア基本計画、がん登録、放射線治療専門医及び医療従事者の育成についての今後の取り組みは。
答 平成18年度は、精度の高い放射線治療に対応するためのリニアック放射線治療装置の導入を予定している。
今後も、がん患者の治療情報などを収集・分析をし、治療の向上に役立てるためのがん登録についても検討し、患者の苦痛を和らげるための緩和ケアの充実についても研究を進めていきたい。
また、チーム医療のための専門スタッフの育成、放射線治療の常勤専門医の確保等にも力を入れ、がん治療の充実にも努めていきたい。

池田議員が議員を辞職

去る7月6日、池田慎久議員から議長に議員辞職願が提出され、同日許可されました。

公益通報者保護制度
見直しと条例化は

問 市公益通報等の処理基準は、通報先や誤って通報された場合の救済措置に問題があると思うが、基準を見直し、条例として整備すべきでは。
答 公益通報等を適切に処理するために、平成18年3月に奈良市公益通報等の処理基準を定めた。
この制度は法律によって制定されたものであり、また、公務員の告発義務は刑事訴訟法においても規定されている。
また、内閣府の見解としても、条例で定める必要はないとしており、現在のところ基準の条例化は考えていないが、基準改正も含めて、今後の研究課題として検討していきたい。

会派構成の異動

平成18年7月7日に矢野兵治議員(無所属)が政翔会に入会しました。
同日現在の会派構成は左記のとおりです。
政翔会11人、創政会8人、公明党市議会議員団8人、日本共産党市議会議員団7人、政友会4人、市民クラブ3人、無所属4人、欠員1人

企画環境委員会



高杉美根子
議会運営副委員長
市議会情報公開審査会委員
(公明党市議会議員団)



副委員長
幾田邦夫
議会運営委員
市議会情報公開審査会委員
(創政会)



委員長
三浦教次
(政翔会)



森田一成
副議長
(政翔会)



西本守直
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市議会議員団)



大橋雪子
議会だより編集委員
(公明党市議会議員団)



大谷 督
(無所属)



土田敏朗
(政友会幹事長)



岡田佐代子
(無所属)

産業文教委員会



大坪宏通
議会運営委員
議会だより編集委員
(政翔会)



副委員長
植村佳史
議会運営委員
議会だより編集委員
市議会情報公開審査会委員
(政翔会)



委員長
東久保耕也
議会運営委員
(政友会)



山口 誠
市議会情報公開審査会副委員長
(市民クラブ)



大国正博
議会だより編集委員長
(公明党市議会議員団)



柿本元気
議会だより編集委員
(創政会)



原田栄子
議会運営委員
(日本共産党市議会議員団)



金野秀一
市議会情報公開審査会委員
(公明党市議会議員団幹事長)



上原 隼
議会運営委員長
(創政会)

新 しい 議会の 構成

() 内は所属会派名

総務水道委員会



副委員長
山口裕司
議会だより編集委員
(日本共産党市議会議員団幹事長)



委員長
高橋克己
(公明党市議会議員団)



浅川 仁
(政翔会幹事長)



松岡克彦
議会だより編集副委員長
(日本共産党市議会議員団)

建設委員会



天野秀治
議会運営委員
市議会情報公開審査会委員
(政翔会)



副委員長
山中益敏
議会運営委員
(公明党市議会議員団)



委員長
中西 日出
市議会情報公開審査会委員
(創政会)



峠 宏明
市議会情報公開審査会委員長
(創政会)



蔵之上政春
(政翔会)



井上昌弘
市議会情報公開審査会委員
(日本共産党市議会議員団)



船越義治
市議会情報公開審査会委員
(公明党市議会議員団)



松石聖一
(市民クラブ幹事長)



矢野兵治
(政翔会)

厚生委員会



奥田正治
(政翔会)



副委員長
北 良晃
議会だより編集委員
市議会情報公開審査会委員
(政友会)



委員長
松田末作
(政翔会)



松村和夫
(無所属)



北村拓哉
議会運営委員
(日本共産党市議会議員団)



藤本孝幸
議会運営委員
議会だより編集委員
(市民クラブ)



山本 清
市議会情報公開審査会委員
(政翔会)



矢追勇夫
(創政会)



米澤 保
(無所属)



和田晴夫
議長
(創政会)



橋本和信
(政友会)



横井健二
(創政会幹事長)